

## エアアジア・ジャパンに乗ってきました

2012年8月15日

8月3日から運航を開始したエアアジア便を搭乗体験してみようと、13日の成田発福岡行きの便、15日の福岡発成田行きの便を使って、福岡を往復してきました。売り出し後、間をおかずに航空券を買い求めたので、手に入ったのですが、旧盆のピーク時期にもかかわらず、昼間帯の便で、往復24,458円（往復とも20kgまでの預け手荷物代金込み）と従来の運賃(JAL/ANAだと、お盆期間でもあり、正規運賃で買い求めたとすると、おそらく75,000円程度)を大幅に下回るコストで東京・福岡を往復することができました。一消費者としては嬉しい限りの移動手段が出現したといえます。

まずまずの満足を得られましたので、結論としては、十分合格点をあげることができると思います。

最初に、これから利用してみようという方に、注意事項を1点。とにかく、初めての搭乗時は時間の余裕をもって空港に行ってください。空港に着いても、時間があるからといって、食事をしたり、買い物をしたりして時間を潰そうとせず、ひたすらボーディング・ゲートまで進むことをお勧めします。

理由は、思いがけないことが起こるからです。成田空港に精通していたはずの私も、恥ずかしながら失敗しました。成田空港で仕事用の写真撮影をしようと思い、出発時刻は11時40分でしたが、9時半には成田空港に着くように、出発時刻の2時間以上前に空港に着いたことが幸いしました。

高速バスで成田空港第2ターミナルの4階に着いたのですが、エアアジアのチェックインブースを探して、ターミナル中を探してしまいました。先入観が災いしたのですが、エアアジア(国内線)のチェックインブース、セキュリティーゲートの場所が、これまでの国内線エリアではなく、新たにターミナルの北側エリアに設置されたことが私にとってのトラブルのもととなりました。

LCCの搭乗プロセスにはこれまで我々が慣れ親しんだものと異なるものも多いですから、乗客の皆さんも慣れるまでは、いろいろなトラブルに見舞われるものと思われます。ちなみに、今回の成田発でも、セキュリティーゲート前で30分ほど並んで順番を待っていたところ、まあ偶然ですが、たまたま私の前に並んでおられたご夫婦が、スカイマークのチケットか搭乗券をお持ちになって、スカイマークと間違えて、ターミナル内の反対側にあるエアアジアの行列に並んでおられ、30分以上の時間をロスされたようです。このご夫

婦が予定された便に無事、搭乗されたことを祈るのみです。

セキュリティー・ゲートを通過してしまえば、あとは大きなトラブルはないと思われます。

搭乗した感想は、まず、席のピッチ（前後の間隔）はかなり狭く感じます。2時間のフライトでもトイレに行くために席を立つ乗客はかなり少ないようです。みなさん遠慮しているんですね。先月、エアアジア X で羽田、クアラルンプールを往復してみましたが、国内線のシートピッチは東南アジア便のピッチとは明らかに異なり、狭いです。ところが、福岡からの帰り便は偶然、ゆったりしたシートピッチの席でした。エマージェンシー・エグジット・ハッチ（避難専用の非常用ドア）のある13列目と14列目のシートは脱出を容易にするためか、広いピッチが設けられています。13A~F、14A~14Fのシートナンバーの席です。どうしても狭いピッチの席が嫌いな方は、事前席予約でこの席を指定されると、ゆったり座ることができます。

それから、エアアジアから購入したもの以外は、機内では飲食禁止です。そのかわり、どんな便でも、購入しさえすれば、食事を機内で摂ることができます。ちなみに、今回はお試しということもあり、福岡行きの便ではワイン(700円)を、帰りの便ではパンとコーヒーのセット(500円)を試してみましたが、価格も手ごろで自分の好きな時に注文できますから慣れれば、これはこれで便利なサービスだと思います。とりわけ、ワインマニアには美味いまずいは別にして、国内線の機内でワインが飲めるのは朗報です。

今話題の、スケジュールに関してですが、ご他聞に洩れず、成田発の便は30分の遅延でした。（帰りの便は定刻出発）原因は前の便からの玉突き遅延だとアナウンスされていました。運航ダイヤの計画や空港の現場の仕事が、時間の経過とともに慣れてくれば、落ちていくものと思われるので、私はこの課題をそれほど致命的なものだとは思っていません。

乗客は、ピーチの井上社長がおっしゃるように、若い人と女性の姿が目立ちます。これを機会に若い方や、女性の航空旅客が増えることを期待しています。

皆さんも、是非一度は、LCCに搭乗されることをお勧めします。

(稲垣)

